

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



苦重グループは国連が提唱する **SDGs** に賛同します。 (持続可能な開発目標)

SDGsとは？

持続可能な開発目標（**SDGs : Sustainable Development Goals**）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（**MDGs**）の後継として、**2015年9月**の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された**2030年**までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・**169**のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（**leave no one behind**）」ことを誓っています。**SDGs**は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



当社では、令和元年よりSDGsの理念に賛同し、より良い経営計画・事業運営へ反映しています。

(当時の宣言、現在は改定)

SDGsの取り組み 2022

建設業を通じて安全・安心で持続可能な社会を実現

地震・台風・噴火などの自然災害が頻発している近年、インフラの整備・維持や迅速な**復旧対応・復興事業**といった建設業の社会的役割が非常に重視されています。当社もパートナー企業様と共に、**お客様と従業員、その家族の生活や事業を守るため、安全と安心を提供するとともに、防災・防炎や、災害発生後の早期に事業および生活の復旧・復興に寄与する取り組み**を行っています。

また、現在は北海道内の風力発電施設といった再生可能エネルギー施設造成に携わることで、**SDGsの目標7**(エネルギーをみんなにそしてクリーンに)、**目標9**(産業と技術革新の基盤をつくろう)、**目標13**(気候変動に具体的な対策を)等を目指すとともに、地球環境に配慮した持続可能な社会の実現に貢献しています。

<災害復旧・復興に携わった主な施工現場>

東日本大震災陸前高田復興事業今泉・高田地区整地工事
北海道胆振東部地震災害復興工事 等

<再生可能エネルギー関連の主な施工現場>

上勇知ウインドファーム風力発電所建設工事
ウインドファーム豊富建設工事
芦川ウインドファーム建設工事 *いずれも施工中



苦重建設の取り組み

- 本社、社員寮の照明LED化
- ペットボトルキャップの分別回収
- エコキャップ寄付 ●古切手回収・寄付
- 急ブレーキ・急発進防止等エコドライブの推奨
- 社有車のハイブリットカー化(順次入れ替え中)
- 苫小牧市男女平等参画を実現する市民会議への参画
- 各自自治体と災害協定の締結
- 市内小学校グラウンド砂場整地ボランティア実施
- 苫小牧未来プロジェクトへの参画 等



持続可能なまちづくりを目指して

Towards the 100th anniversary

豊かな地球を未来へ紡ぐ！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



i-Construction ICT施工の

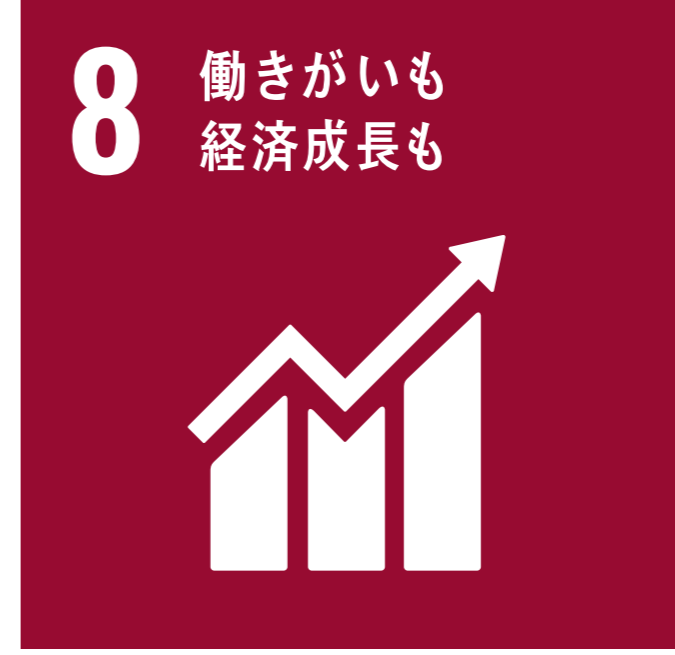


苦重建設株式会社

〒053-0814 苫小牧市字糸井70番地 TEL 0144-73-7351



生産性向上への取り組み

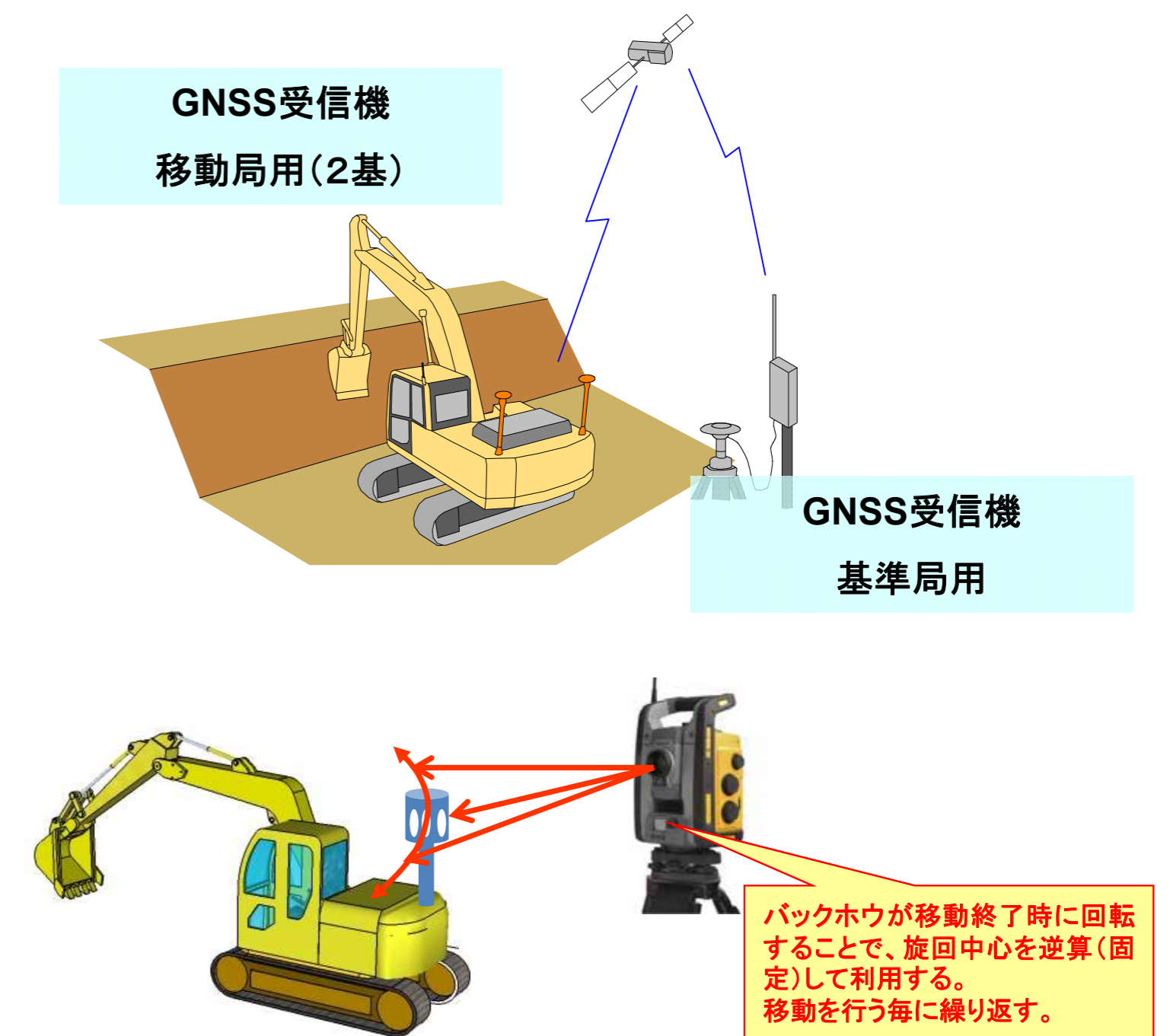


i-Construction (ICTの活用) による生産性向上

高速道路造成や風力発電などの現場施工において、ICT施工を積極的に導入しています。

ブルドーザや振動ローラーにはGNSSアンテナを搭載し、衛星からのデータを活用してコンクリートの高さや転圧回数の管理を行っています。バックホウにはMG(マシンガイダンス)=自動追尾式TSやGNSSなどの位置計測装置を用いて建設機械の位置情報を計測し、施工箇所の設計データと現地盤データとの差分をオペレータへ提供するシステムや、MC(マシンコントロール)=自動追尾式TSやGNSSなどの位置計測装置を用いて建設機械の位置情報を計測し、施工箇所の設計データと現地盤データとの差分に基づき、操作を半自動制御するシステムを導入することで、丁張り削減、検測作業削減、施工作業の簡素化といった省人化、工期短縮による施工の効率化を図り、生産性向上に寄与しています。

また、ドローンによる空中撮影での現場のビフォーアフターの見える化等、ICTツールの積極的な活用による生産性向上への取り組みを継続していきます。



住まう地域と建設業の明るい未来のために



生産年齢人口の減少が進む中、建設業においても担い手不足への対応は喫緊の課題となっています。当社の対策として、建設生産プロセスにおける「生産性の向上」を掲げています。

今後ますます多様化・高度化する社会の要請に応じて、より良質な建設サービスを提供し続け「豊かな地球を未来に紡ぐ」を実現できるよう、今後も継続的に生産性向上や働き方改革を積極的に取り組んでいきます。

i-Construction ICT施工の



苦重建設株式会社

〒053-0814 苦小牧市字糸井70番地 TEL 0144-73-7351





人財育成・担い手確保 働き方改革

「良いものづくり」ができる「ひとづくり」を目指し、60年以上続く TOMAJU マインドや技術の伝承とともに、時代の発展に応じた技術革新への対応を図れる人財育成に取り組んでいます。

各種研修制度・資格取得補助制度

新入社員研修、社内研修会、外部委託による研修等を通じて、就職後も学び挑戦する意欲を育みます。

施工管理技士等の国家資格取得に関する助成を行い、社員の資格取得を推奨しています。



インターンシップ・見学会・説明会の開催

学生が将来のキャリア形成や自らの適正について感じ考える機会を提供することを目的として、高校生、大学生向けのインターンシップを実施しています。

また建設業への理解と関心を深めてもらう目的で会社・現場見学会や説明会を実施し、将来の担い手の育成に繋がる取り組みとなっています。



性別に囚われない人財登用と活躍を推進

当社は10年以上前より女性技術者の現場採用、それぞれの能力を発揮できるキャリア形成に努めています。育児・介護休業、子の看護休暇、育児・介護短時間勤務等の制度を活用し、ライフステージに応じた働き方ができるよう、安心して働ける環境を整備しています。

北海道働き方改革推進企業シルバー認定
苫小牧市「働きやすい職場環境づくり賞」受賞

健康経営の推奨

2019年より健康経営優良法人(中小法人部門)の認定を受けており、社員が心身ともに健康でいきいきと働ける職場づくりとして、100%健康診断実施および再検査フォロー、毎日のラジオ体操や生活習慣病予防対策等を行っています。



とまこまい港まつりへの参画

SDGsの概念が生まれる前の**28年前より**、パートナー企業様と共に、建設現場で実際に使用する建設機械の試乗体験等を通じて 建設業のダイナミックさや技術力を子ども達に**体感してもらう取り組み**を継続中です。

また、ブースでの募金活動を通じて、苫小牧市緑化基金や社会福祉協議会への**寄付**を通じて、CO²削減等への効果が期待できる緑化活動に賛同し募金活動を**継続**しています。



新型コロナウイルス感染症の蔓延により、2年間の中止や開催の在り方も問われましたが、今後も次世代に建設業の魅力を発信し紡いでいく場として、地域の皆様に時代のニーズに合わせた体験機会を提供してまいります。



持続可能なまちづくりを目指して

Towards the 100th anniversary

豊かな地球を未来へ紡ぐ！



i-Construction ICT施工の



苫重建設株式会社

〒053-0814 苫小牧市字糸井70番地 TEL 0144-73-7351

